

プログラム・抄録集

第16回 日本保育園保健学会

The 16th. Annual Meeting of the Japan Society for Well-being of Nursery-schoolers

子どもをはぐくむ保育の力

現場に役立つ赤ちゃんの秘密



絵 田中 四朗

日 時 2010年10月30日(土)・31日(日)

会 場 大阪大学コンベンションセンター
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-1
TEL 06-6879-7171

会 頭 伊藤 謙吾(前日本保育園保健協議会副会長)

事務局 第16回 日本保育園保健学会事務局 (社)大阪小児科医会内
〒543-0011 大阪市天王寺区清水谷町8-15 清水谷ビッグビル2F
TEL 06-6761-7613 FAX 06-6761-7682

第16回
日本保育園保健学会

子どもをはぐくむ保育の力

—現場に役立つ赤ちゃんの秘密—

2010 大阪

会頭 伊藤 謙吾
(前日本保育園保健協議会副会長)

ご挨拶

安心できる保育環境を作ろう！

多くの会員を集めましょう！



前日本保育園保健協議会副会長

会頭 伊藤謙吾

この度は、本学会にご参加いただき、ありがとうございました。

皆様のお陰もありまして会員数も4年前の大阪での大会以降少しは増えて参りまして、何とか、3,500名を維持していますが、今後この協議会を法人化するに当たってもさらなる会員の増加を目指して学会、生涯教育研修会等の一層の充実を目指したいと思っておりますので、よろしくご協力のほどお願い致します。

そのためを思い、第3ブロック担当では、できるだけ地方の活性化につなげたいと思い、各府県のかたがたと種々検討いたしました。なかなかそこまでの組織化がないところが多く、一段と協議会としての努力が必要だと痛感いたしました。そこで、今回も4年前に引き続き大阪で開催する運びとなりました。

今回はメインテーマを「子どもをはぐくむ保育の力 ～現場に役立つ赤ちゃんの秘密～」といたしました。最近言われ出しています「赤ちゃん学」なるものの原点に戻るつもりで勉強しようということになりました。そのことが、現場で大いに役立つと思われまし、親との話の中で参考になると思えます。

まず、シンポジウム「気になる子どもをはぐくむ」では、発達障がいの子どもの特徴や、親の訓練、子どもの心の対応、それぞれの現場での対応などを中心に一緒に考えてみたいと思います。二日目は、多くの方々のご意見を発表していただき、ランチョンセミナーでは、生涯研修の実りを上げていただき、その後は特別講演、招待講演で「赤ちゃん」そのものを動物の側から、人間の側からそれぞれ専門の先生に新しい知識を注入していただければ幸いです。これらの各自が習得しました知識をすぐとは言えませんが、それぞれの持ち場に帰られて大いに利用、活用していただければ、この会を主催したものにとって、この上ない喜びです。

それでは、少しでも大阪のあまり知られていない自然環境を実感してお帰りいただければ幸いです。

第16回日本保育園保健学会日程表

第1日目 10月30日 (土)				
平成22年度大阪府医師会学校医部会就学前児保健委員会研修会				
	A会場 (MOホール)	B,C会場 (第2,3会議室)	3Fホワイエ	
12:30	受付開始		企業展示	
13:30	開会式 会頭挨拶 伊藤謙吾 (会頭・前日本保育園保健協議会副会長) 挨拶 伯井俊明 (大阪府医師会会長)			
14:00	基調講演 座長:小林陽之助 (大阪総合保育大学 大学院児童保育研究科長) 「発達障害の科学的理解を目指して」 谷池雅子 (大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合小児発達学研究科教授)			
14:45	シンポジウム 「気になる子どもをはぐくむ」 座長:木野 稔 (大阪府医師会学校医部会 就学前児保健委員会委員長) 永井 利三郎 (大阪大学医学系研究科) 小野寺芳子 (大阪府保育所保健連絡協議会副会長)	「発達障害のある子どもの特徴と支援の考え方」 鈴木典子 (森之宮病院小児神経科・田中北梅田クリニック) 「保育の現場でのグレーゾーンの子どもの保護者への対応」 里見恵子 (大阪府立大学人間社会学部 社会福祉学科准教授)		サテライト会場
15:30		ディスカッション		
16:15				
16:45				
17:00	特別講演① 座長: 鴨下重彦 (日本保育園保健協議会会長) 「今後の保育と行政」 厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課			サテライト会場
17:30	移動 会場前より専用バスにて			
18:15	交流会 (千里阪急ホテル クリスタルホール)			
20:00				

B会場、およびC会場ではサテライト会場として、A会場にて行われます講演の映像、音声の中継いたします。

第2日目 10月31日 (日)				
	A会場 (MOホール)	B会場 (第2会議室)	C会場 (第3会議室)	3Fホワイエ
8:50	受付開始			企業展示
9:20	一般演題A-1 「健康・園医」 座長:三浦義孝 (みうら小児科) 那脇美奈子 (いずみ保育園)	一般演題B-1 「遊び・保育」 座長:帆足英一 (ほあし子どものこころクリニック) 園田和子 (せつつ保育園)	一般演題C-1 「看護師」 座長:新田康郎 (新田小児科医院) 上條陽子 (美原きた保育所)	
10:10	一般演題A-2 「感染症」 座長:遠藤郁夫 (浜町小児科医院) 藤田 位 (医療法人社団 藤田小児科医院)	一般演題B-2 「保育士・環境」 座長:南 武嗣 (みなみクリニック) 小山よしえ (フタバ学園)	一般演題C-2 「健康づくり」 座長:松田光彦 (日本保育園保健協議会監事) 高田テルミ (貝塚南保育園)	
10:20				
11:10				

第2日目 10月31日 (日)

	A会場 (MOホール)	B会場 (第2会議室)	C会場 (第3会議室)	3F ホワイト
11:20	会長講演 座長:小川 實 (大阪小児科医学会会長) 「保育園保健協議会の将来を考 える」 鴨下重彦 (日本保育園保健協議会会長)	サテライト 会場	サテライト 会場	企 業 展 示
11:50 12:00	ランチョンセミナー1 (生涯研修プログラムとして) 座長:園府寺 美 (社会医療法人 真美会中野こども病院) 「保育園での感染症対策とワクチ ン」 庵原俊昭 (国立病院機構三重病院院長) 共催:サノフィ・アベンティス株式会社	ランチョンセミナー2 (生涯研修プログラムとして) 座長:鈴木保宏 (大阪府立母子保健総合医療センター 小児神経科) 「子供のてんかんとその対応」 山本 仁 (聖マリアンナ医科大学小児科 主任教授) 共催:グラクソ・スミスクライン株式会社	ランチョンセミナー3 (生涯研修プログラムとして) 座長:卯西 元 (うにし小児科) 「喘息を持つ子どもの保育所生活 とその留意点」 亀田 誠 (地方独立行政法人 大阪府立病院機構大阪府立呼吸器 ・アレルギー医療センター小児科部長) 共催:大塚製薬株式会社	
13:00 13:10	総会			
13:40 13:50	会頭招聘講演 座長:伊藤謙吾 (会頭・前日本保育園保健協議会 副会長) 「ロボットから赤ちゃんを読み解く」 浅田 稔 (大阪大学大学院工学研究科教授)	サテライト 会場	サテライト 会場	
14:40 14:45	招待講演 座長:小國龍也 (すこやか小児科) 「抱っことおんぶ～ ゴリラの子育てからわかること」 中道正之 (大阪大学大学院人間科学研究科 比較行動学研究分野教授)	サテライト 会場	サテライト 会場	
15:35 15:40	特別講演② 座長:奈良平典子 (大阪保育福祉専門学校) 「赤ちゃんの発達科学」 榊原洋一 (お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科教授)	サテライト 会場	サテライト 会場	
16:30 16:40	閉会式 閉会挨拶			

B会場、およびC会場ではサテライト会場として、A会場にて行われます講演の映像、音声を中継いたします。

講演・シンポジウム・セミナー案内

会長講演 10月31日（日）11：20～11：50

座長：小川 實（大阪小児科医会会長）

「保育園保健協議会の将来を考える」

鴨下重彦（日本保育園保健協議会会長）

基調講演 10月30日（土）14：00～14：45

座長：小林陽之助（大阪総合保育大学 大学院児童保育研究科長）

「発達障害の科学的理解を目指して」

谷池雅子（大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合小児発達学研究科教授）

会頭招聘講演 10月31日（日）13：50～14：40

座長：伊藤謙吾（会頭・前日本保育園保健協議会副会長）

「ロボットから赤ちゃんを読み解く」

浅田 稔（大阪大学大学院工学研究科教授）

招待講演 10月31日（日）14：45～15：35

座長：小國龍也（すこやか小児科）

「抱っことおんぶ ～ゴリラの子育てからわかること～」

中道正之（大阪大学大学院人間科学研究科比較行動学研究分野教授）

特別講演 ① 10月30日（土）17：00～17：30

座長：鴨下重彦（日本保育園保健協議会会長）

「今後の保育と行政」

厚生労働省雇用均等・児童家庭局 保育課

特別講演 ② 10月31日（日）15：40～16：30

座長：奈良平典子（大阪保育福祉専門学校）

「赤ちゃんの発達科学」

榊原洋一（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科教授）

シンポジウム 10月30日(土) 14:45~16:45

「気になる子どもをはぐくむ」

座長：木野 稔（大阪府医師会学校医部会 就学前児保健委員会委員長）

永井利三郎（大阪大学医学系研究科）

小野寺芳子（大阪府保育所保健連絡協議会副会長）

「発達障害のある子どもの特徴と支援の考え方」

鈴木典子（森之宮病院小児神経科・田中北梅田クリニック）

「保育の現場でのグレーゾーンの子どもの保護者への対応」

里見恵子（大阪府立大学人間社会学部社会福祉学科准教授）

ランチョンセミナー（生涯研修プログラム） 10月30日(土) 12:00~13:00

ランチョンセミナー1

座長：園府寺 美（社会医療法人真美会 中野こども病院）

「保育園での感染症対策とワクチン」(A会場)

庵原俊昭（国立病院機構三重病院院長）

共催：サノフィ・アベンティス株式会社

ランチョンセミナー2

座長：鈴木保宏（大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科）

「子供のてんかんとその対応」(B会場)

山本 仁（聖マリアンナ医科大学小児科主任教授）

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

ランチョンセミナー3

座長：卯西 元（うにし小児科）

「喘息を持つ子どもの保育所生活とその留意点」(C会場)

亀田 誠（地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター小児科部長）

共催：大塚製薬株式会社

学会プログラム

第1日 10月30日(土)

- 12:30～ 受付開始
- 13:30～14:00 **開会式** 会頭挨拶 伊藤謙吾(会頭・前日本保育園保健協議会副会長)
挨拶 伯井俊明(大阪府医師会会長)
- 14:00～14:45 **基調講演** 座長:小林陽之助(大阪総合保育大学 大学院児童保育研究科長)
「発達障害の科学的理解を目指して」
谷池雅子(大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合小児発達学研究科教授)
- 14:45～16:45 **シンポジウム 「気になる子どもをはぐくむ」**
座長:木野 稔(大阪府医師会学校医部会 就学前児保健委員会委員長)
永井利三郎(大阪大学医学系研究科)
小野寺 芳子(大阪府保育所保健連絡協議会副会長)
「発達障害のある子どもの特徴と支援の考え方」
鈴木典子(森之宮病院小児神経科・田中北梅田クリニック)
「保育の現場でのグレーゾーンの子どもと保護者への対応」
里見恵子(大阪府立大学人間社会学部社会福祉学科准教授)
- 17:00～17:30 **特別講演①** 座長:鴨下重彦(日本保育園保健協議会会長)
「今後の保育と行政」
厚生労働省雇用均等・児童家庭局 保育課

第2日 10月31日(日)

8:30~

受付開始

9:20~11:10

一般演題

A 会場

A-1 「健康・医療」 9:20~10:10

座長：三浦義孝（みうら小児科）

那脇美奈子（いずみ保育園）

A-1-1 園児健康診断の間診票配布の効果について

社会福祉法人東保育会 稲城市立稲城第六保育園

○山川千賀子

A-1-2 年中児(4歳児)の視力健診を行って 一視力測定を実施して見えてきたこと一

1) 静岡市保健福祉子ども局子ども青少年部保育課

2) 元 静岡市保健福祉子ども局子ども青少年部保育課

○佐野芳美¹⁾、高田佳子¹⁾、須貝美緒¹⁾、世田美幸¹⁾、堀内直子¹⁾、

杉本千里²⁾、松本恵美²⁾、大崎恵美²⁾、青島早木子²⁾

A-1-3 幼児期の健康福祉に関する研究 一保育園児の排便時間別にみた生活実態一

1) 早稲田大学大学院人間科学研究科 2) 早稲田大学人間科学学術院

○泉 秀生¹⁾、前橋 明²⁾

A-1-4 健康な乳幼児の集団生活の場である保育園における医療上の問題

一与薬の取り扱いと登園許可証の取り扱い一

札幌市乳幼児園医協議会

○窪田 満、中山雅之、出村 守、飯塚 進

A-1-5 先天性中枢性肺胞低換気症候群の児童の保育

堺市子育て支援部保育課

○中野朋子

A-2 「感染症」 10:20~11:10

座長：遠藤郁夫（浜町小児科医院）

藤田 位（医療法人社団 藤田小児科医院）

A-2-6 保育現場における看護師の役割 (IV)

一保育園内における新型インフルエンザの発生と対策一

1) 社会福祉法人 作陽保育園 2) 早稲田大学

○常藤幸枝¹⁾、木村千枝¹⁾、桐山千世子¹⁾、有木信子¹⁾、前橋 明²⁾

A-2-7 新型インフルエンザ流行時の川崎市全公立保育園児のインフルエンザワクチン接種とその発症について

1) 川崎市医師会保育園医部会 2) 川崎市立中有馬保育園

○中島夏樹¹⁾、久保田風生¹⁾、小野木恵子¹⁾、武藤正之¹⁾、清水 晃¹⁾、田角喜美雄¹⁾、野矢淳子¹⁾、荒井克彦²⁾

A-2-8 職員の健康管理意識の高揚と感染症予防対策の取り組み

1) 小ざくら乳児保育園 2) コトノハ（生活介護施設）
3) あしたば（障がい者支援施設）

○福田里美¹⁾、福島千加²⁾、岡本節子³⁾

A-2-9 感染症と予防接種に関する保育士の意識

1) 瑞雲保育園 2) 静岡市子ども青少年部保育課 3) ふたば保育園
4) 聖心保育園 5) ゆりかご保育園 6) 勝又小児科アレルギー科医院
○梶浦由喜子¹⁾、佐野芳美²⁾、栗原正明³⁾、吉川慶子⁴⁾、神野博行⁵⁾、勝又正孝⁶⁾

A-2-10 こどもクリニックにおける予防接種について考える

ー予防接種の現状と未来ー

まつだこどもクリニック

○國府田正子、後藤 瞳、山口彰子、村上美雪、山中洋子、松田恭寿

B 会場

B-1 「遊び・保育」 9:20～10:10

座長：帆足英一（ほあし子どものこころクリニック）
園田和子（せつつ保育園）

B-1-1 もぐもぐ～0歳児、楽しくたべておおきなあれ！

宗教法人城前寺保育園

○皆川節子

B-1-2 タッチケアの効果的要因

ー母子関係の確立と育児支援に向けてー

京都ノートルダム女子大学大学院

○石黒香里

B-1-3 睡眠習慣からみる子どもの健康状況（その1）

ー健康程度・いらいら・寝起き・便秘との関係ー

1) 名古屋短期大学 2) 社会福祉法人 みなみ福祉会 笠寺幼稚園

○村松十和¹⁾、原田真衣²⁾

B-1-4 睡眠習慣と子どもの健康状況（その2）－健康状況・食生活習慣の関係－

1) 名古屋短期大学 2) 社会福祉法人 みなみ福祉会 笠寺幼稚園

○村松十和¹⁾、原田真衣²⁾

B-1-5 親が乳児の心音をきくことによる情動交流場面の分析

1) 比治山大学短期大学部 2) よしなが小児科医院

○七木田方美¹⁾、吉永陽一郎²⁾**B-2 「保育士・環境」 10:20～11:10**

座長：南 武嗣（みなみクリニック）

小山よしえ（フタバ学園）

B-2-6 教育実習および保育実習との関連から授業の適切な実施時期について考える

－「乳児保育」「小児保健実習」授業について－

新潟県立大学人間生活学部子ども学科

○沼野みえ子

B-2-7 小児保健講義内容の一考察 ー小児の安全教育への関心を高めるためにー

桜美林大学健康福祉学群保育専修

○益川順子、野中和代

B-2-8 保育経験の違いがもたらす保育学生の親子のイメージの変容

1) 比治山大学短期大学部幼児教育科専攻科 2) 比治山大学短期大学部

○森田優希子¹⁾、藤本奈津美¹⁾、平田温子¹⁾、西松珠美¹⁾、七木田方美²⁾

B-2-9 園児のケガに関する保護者の意識調査

大阪小児科医会

福井聖子、藤岡雅司、卯西 元、小川 實

B-2-10 保育現場での音環境に関する調査（第2報）

北海道保育園保健協議会

○吾田富士子、穴倉迪彌、川合洋子、渡辺一彦、小熊陽子

C 会場**C-1 「看護師」 9:20～10:10**

座長：新田康郎（新田小児科医院）

上條陽子（美原きた保育所）

C-1-1 保育園における歯科保健活動の現状

1) 全国保育園保健師看護師連絡会 2) 大田区立保育園

○小原佳子¹⁾、佐藤美鈴²⁾、佐藤博子²⁾、山田澄子²⁾、高味育子²⁾、
染野真理²⁾、船渡いずみ²⁾、徳永佳野²⁾、青山良恵²⁾、山本玲子²⁾

C-1-2 視力検査を導入して

社会福祉法人（盛岡市）愛育園

○伊藤律子

C-1-3 保育所の人的環境としての看護職配置状況と役割（1）

—看護職の雇用形態による保健活動への意識、担当状況の違い—

1) みたか小鳥の森保育園 2) 杉並区立久我山保育園

3) 東京大学大学院医学系研究科家族看護学分野

○宮崎博子¹⁾、藤城富美子²⁾、国分麻紀³⁾、村山志保³⁾、上別府圭子³⁾

C-1-4 保育所の人的環境としての看護職配置状況と役割（2）

—慢性疾患児と感染症対策への課題—

1) 杉並区久我山保育園 2) みたか小鳥の森保育園

3) 東京大学大学院医学系研究科家族看護学分野

○藤城富美子¹⁾、宮崎博子²⁾、国分麻紀³⁾、村山志保³⁾、上別府圭子³⁾

C-1-5 保育中のけがや体調不良児への看護職の対応調査

1) 白梅保育園 2) みたか小鳥の森保育園 3)

4) 東社協保育士会保健部会

○鈴木久美¹⁾、宮崎博子²⁾、羽室俊子³⁾、東社協保育士会保健部会⁴⁾

C-2 「健康づくり」 10:20~11:10

座長：松田光彦（日本保育園保健協議会監事）

高田テルミ（貝塚南保育園）

C-2-6 保育園でできる健康支援と看護師の役割

1) 社会福祉法人聖心会 聖心保育園

○吉川慶子

C-2-7 幼児の健康づくりシステムの構築

—沖縄県石垣島における保育園児の夜型生活の誘因とその対策—

1) 国際学院埼玉短期大学 2) 早稲田大学人間科学学術院

○松尾瑞穂¹⁾、前橋 明²⁾

C-2-8 幼児の健康づくりシステムの構築

—沖縄県における「食べて、動いて、よく寝よう」運動の企画と実践—

1) 早稲田大学人間科学学術院 2) 国際学院埼玉短期大学

○前橋 明¹⁾、松尾瑞穂²⁾

C-2-9 幼児・児童の健康づくりシステムの構築

—すこやかキッズカード（生活版）を活用した子どもの健康づくり（第3報）—

1) 立正大学社会福祉学部 2) 早稲田大学人間科学学術院

○長谷川 大¹⁾、前橋 明²⁾

C-2-10 保育園における検診の疾病予防対策に対する意義の検討 - 第2報 -

社会福祉法人豊中愛和会 高槻あいわ保育園

○三澤智栄、宮永 瞳、堀越千都、根岸宏邦

11 : 20~11 : 50 **会長講演** 座長 : 小川 實 (大阪小児科医会会長)

「保育園保健協議会の将来を考える」

鴨下重彦 (日本保育園保健協議会会長)

12 : 00~13 : 00 **ランチョンセミナー (生涯研修プログラム)**

A会場 ランチョンセミナー1 座長 : 囀府寺 美 (社会医療法人真美会 中野こども病院副院長)

「保育園での感染症対策とワクチン」

庵原俊昭 (国立病院機構三重病院院長)

(共催 : サノフィ・アベンティス株式会社)

B会場 ランチョンセミナー2 座長 : 鈴木保宏 (大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科主任部長)

「子供のてんかんとその対応」

山本 仁 (聖マリアンナ医科大学小児科主任教授)

(共催 : グラクソ・スミスクライン株式会社)

C会場 ランチョンセミナー3 座長 : 卯西 元 (うにし小児科院長)

「喘息を持つ子どもの保育所生活とその留意点」

亀田 誠 (地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター小児科部長)

(共催 : 大塚製薬株式会社)

13 : 10~13 : 40 **総会**

13 : 50~14 : 40 **会頭招聘講演** 座長 : 伊藤謙吾 (会頭・前日本保育園保健協議会副会長)

「ロボットから赤ちゃんを読み解く」

浅田 稔 (大阪大学大学院工学研究科教授)

14 : 45～15 : 35 **招待講演** 座長 : 小國龍也 (すこやか小児科)

「抱っことおんぶ ～ゴリラの子育てからわかること～」

中道正之 (大阪大学大学院人間科学研究科比較行動学研究分野教授)

15 : 40～16 : 30 **特別講演②** 座長 : 奈良平典子 (大阪保育福祉専門学校)

「赤ちゃんの発達科学」

榊原洋一 (お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科教授)

16 : 30～16 : 40 **閉会式**

次期 (岡山県) 会頭挨拶

小田 慈 (岡山大学大学院保健学研究科看護学分野成育看護学領域教授)